

第2章 上里町地域公共交通計画

2-1. 上里町の公共交通に関する課題

(1) 地域公共交通に関する課題

前章で整理した上里町及び公共交通の現状、町民の意識調査の結果等より、公共交通の課題を以下の観点で整理した。

【整理の観点】

● 移動手段の確保の観点

課題1 誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供

課題2 今後増加する高齢者の移動需要への対応

● 上位関連計画との整合の観点

課題3 神保原駅を中心とした都市構造への変革

● 現在の公共交通サービスの観点

課題4 地域の需要や利用者ニーズに応じた交通サービスへの見直し

● 公共交通の持続性の観点

課題5 公共交通の持続的な維持

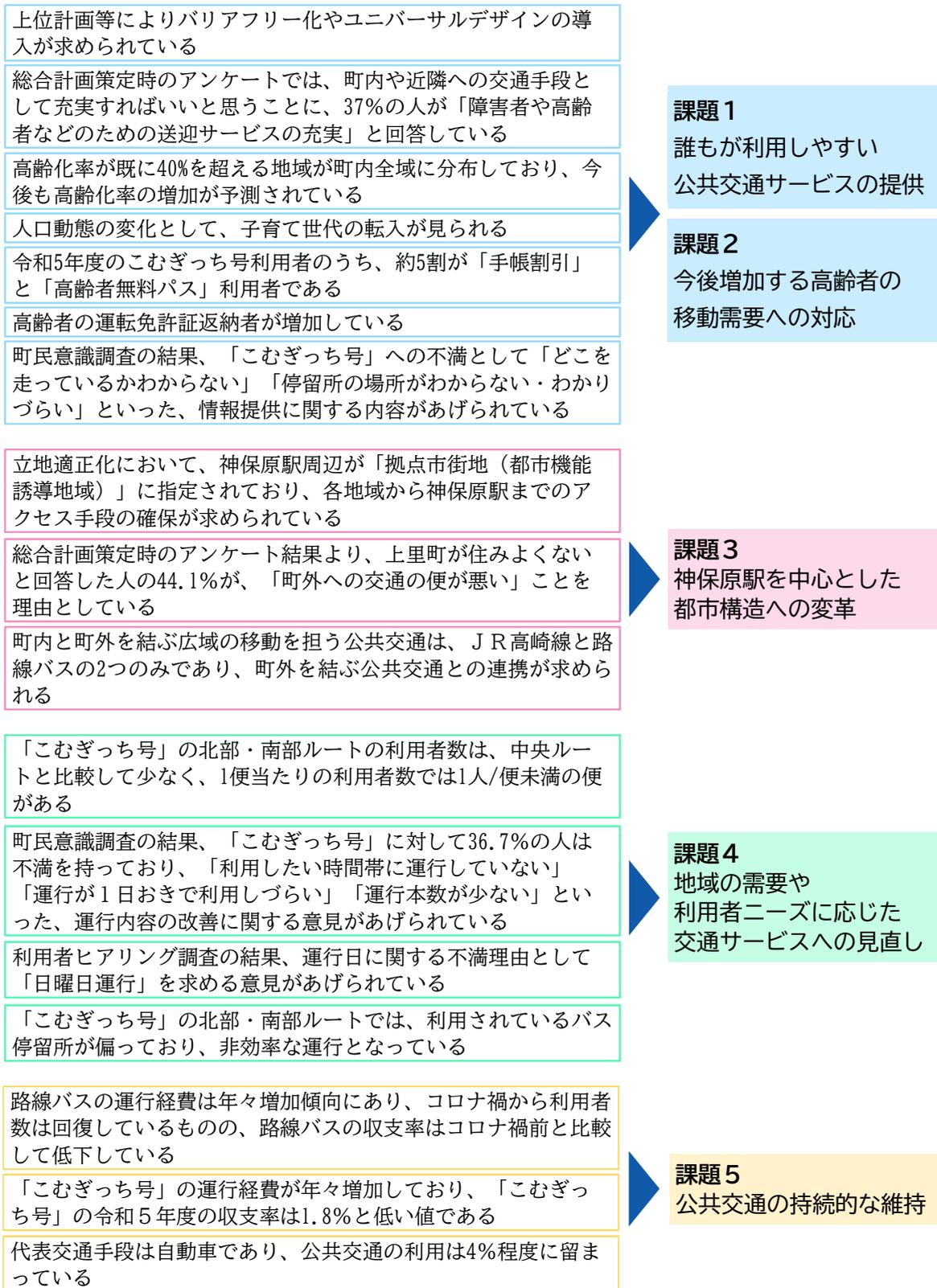


図 2-1 上里町の現状等と公共交通に関する課題

課題1 誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供

人口動態より、子育て世代及び高齢者が転入超過の状況にあり、町外から来た人の移動手段の確保が求められる。「第5次上里町総合振興計画後期基本計画」策定時のアンケート（以下、「総合振興計画策定時アンケート」という。）では、町内や近隣への交通手段として充実すればいいと思うことに、約37%の人が「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」と回答している。町民意識調査の結果、「こむぎっち号」の不满理由として「どこを走っているのか分からない」「停留所の場所が分からない・わかりづらい」といった意見があげられており、情報提供の不足が問題である。

高齢者や障害のある方、町外から来た人等の増加等により幅広い需要が高まっている。一方で、情報提供の不足に関する意見があがっており、誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供が求められている。

問15 あなたは、町内や近隣への交通手段として、どのような取組が充実すればいいと思いますか。（主なものを3つまでに○）



図 2-2 「総合振興計画策定時アンケート」の結果（再掲載）

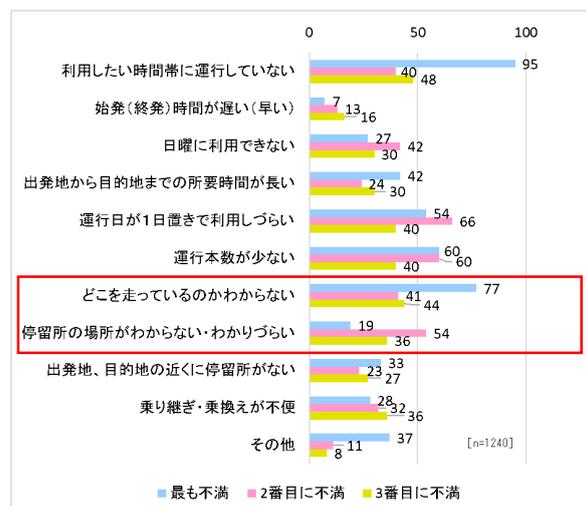


図 2-3 「町民意識調査」の結果（再掲載）

課題2 今後増加する高齢者の移動需要への対応

令和2年（2020年）時点で高齢化率が40%を超える地域が町内に広く分布しており、今後ますます深刻化することが予測されている。

今後増加する高齢者の移動需要へ対応した公共交通サービスへの転換が求められる。

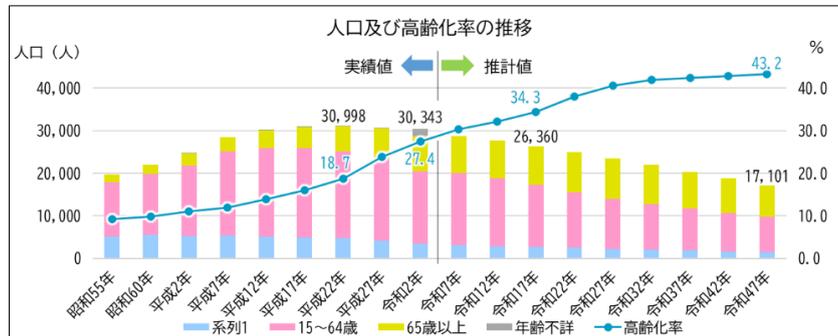


図 2-4 人口及び高齢化率の推移 (図 1-2 再掲載)

課題3 神保原駅を中心とした都市構造への変革

「上里町都市計画マスタープラン」や「上里町立地適正化計画」等において、将来の目指すべき都市構造として神保原駅を中心とした都市構造が示されている。一方で、「総合振興計画策定時アンケート」では、上里町の住みよくないと感じる要因として、約44%の人が「町外への交通の便が悪い」と回答している。

各地域から拠点市街地（都市機能誘導区域）の神保原駅へのアクセスの確保が求められている。また、アンケート調査の結果より、町外への交通の便の悪さに関する意見があがっている。町外へアクセス可能な公共交通は「JR高崎線」及び「路線バス」の2つのみであり、「こむぎっち号」との連携が求められる。

問5-2 上里町が住みよくないと感じる原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

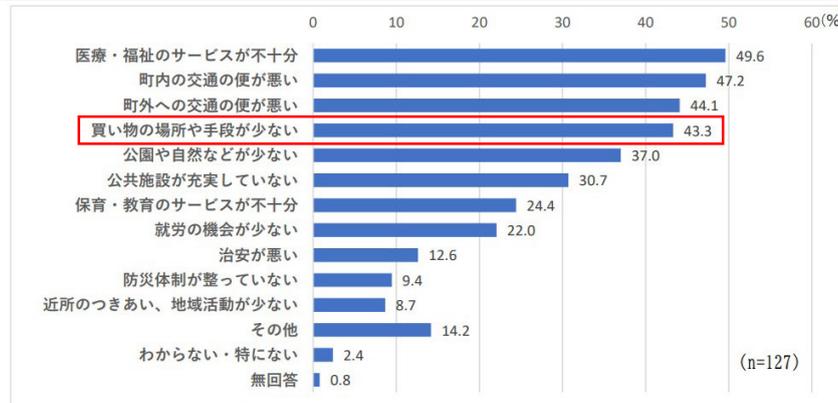


図 2-5 「総合振興計画策定時アンケート」の結果 (再掲載)

課題4 地域の需要や利用者ニーズに応じた交通サービスへの見直し

1便あたりの乗車人数は、北部・南部ルートの一部で1.0人/便を下回っており、1人も乗っていない便が発生している。北部・南部ルートの利用状況より、利用されていないバス停留所が多く、非効率な運行となっている。町民意識調査や利用者ヒアリング調査の結果より、運行時間や運行便数、日曜日運行等を求める声があがっている。

現状の利用状況より、非効率な運行となっていることや、町民意識調査や利用者ヒアリング調査の結果よりニーズの不一致等が分かっている。地域の需要、利用者ニーズに応じた交通サービスへの見直しが求められている。

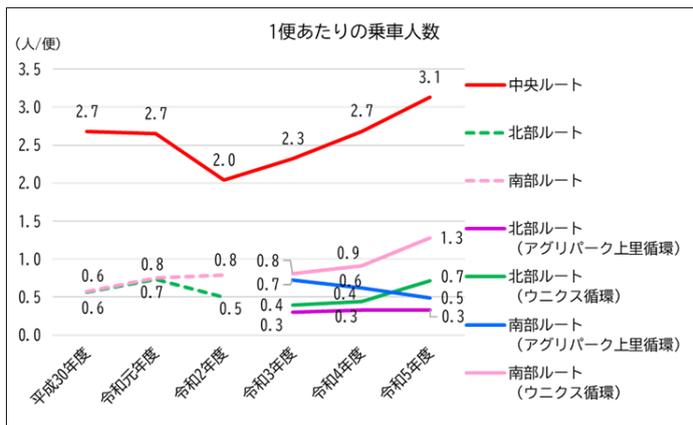


図 2-6 「こむぎっち号」の1便あたりの乗車人数の推移 (図 1-23 再掲載)

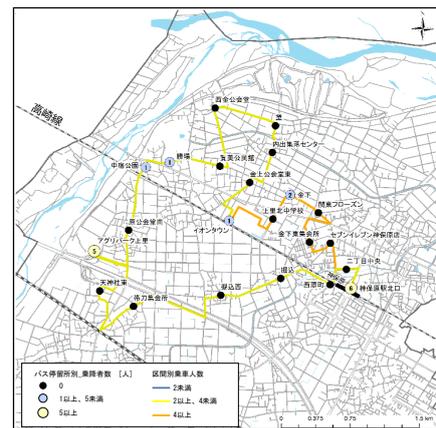


図 2-7 「こむぎっち号」北部ルート (アグリパーク上里循環) の停留所別利用状況 (図 1-26 再掲載)

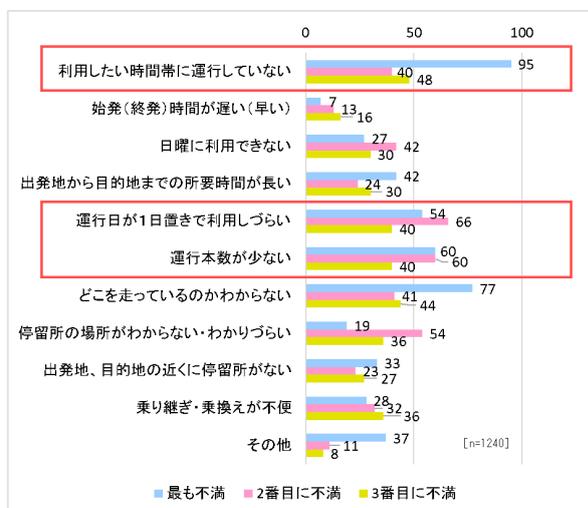


図 2-8 「町民意識調査」の結果 (再掲載)

課題5 公共交通の持続的な維持

上里町では、自動車の利用割合が66%と高く、公共交通の利用は4%程度に留まっている。

また、利用者数はコロナ禍から回復しつつあるものの、路線バスや「こむぎっち号」の運行経費は年々増加傾向にあり、収支率の低下や町の負担割合が増加している。

特に、「こむぎっち号」の収支率は、令和5年度で1.8%と非常に低く、北部ルート及び南部ルート（アグリパーク上里循環）の1便当たりの利用者数は1.0人/便を下回っている。

公共交通の分担率が低く、特にバスの分担率が低い状況にある。また、路線バス・コミュニティバス共に運行経費は年々増加傾向にあるものの、収支率は低い値にある。公共交通の持続的な維持に向けた対策が求められている。

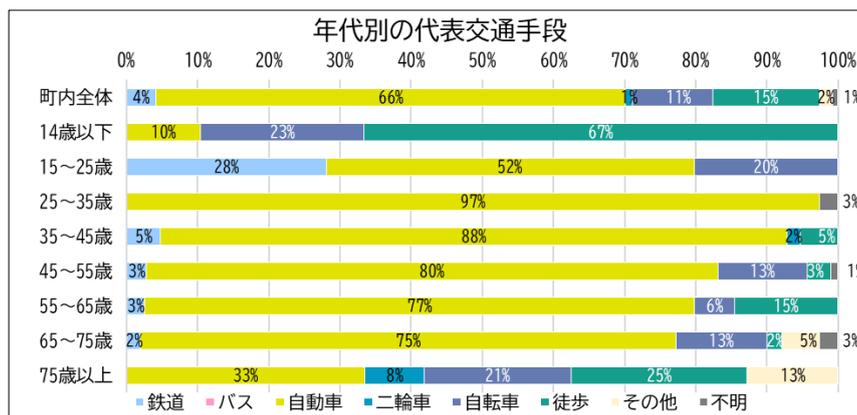


図 2-9 年代別の代表交通手段 (図 1-1 1 再掲載)

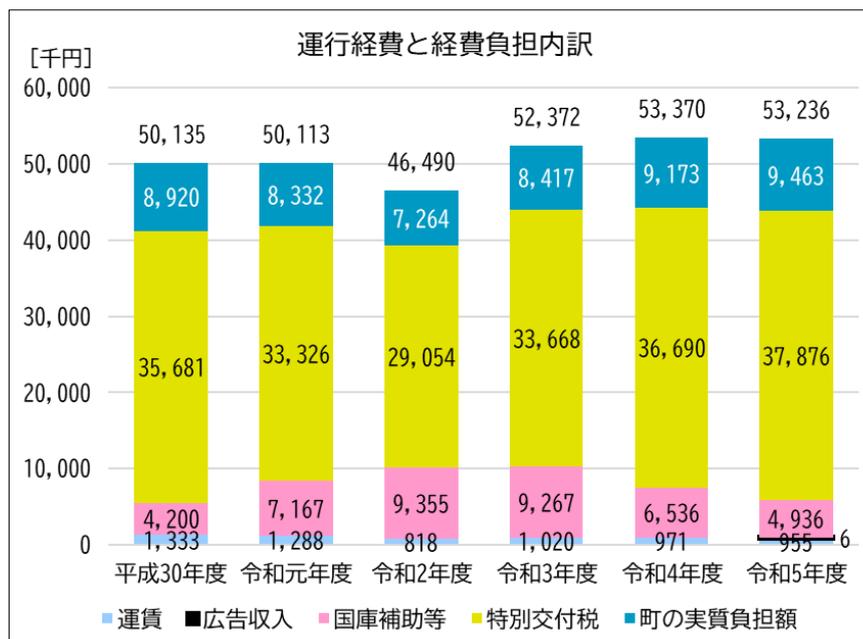


図 2-10 「こむぎっち号」の運行経費と経費負担内訳 (図 1-3 1 再掲載)

(2) 前計画の評価

前計画である「上里町地域公共交通網形成計画」の評価結果を以下に示す。

表 2-1 前計画の評価結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
「こむぎっち号」の年間利用者数 目標値：21,100人	利便性向上により、公共交通利用者数の増加を図る	乗車実績	実績値：18,905人 令和4年度から令和5年度までの伸び率としては18%となっており、令和3年度から令和4年度における伸び率の13%と比較すると増加傾向にあり、達成率も上がっているが、目標値には達していない。	令和6年度が計画として最終年度であり、現行体制（バス4台）での運用も最後となるが、引き続き利用促進の取組を実施し、目標値の達成に努める。
交通結節点利用の満足度 目標値：80%	交通結節点の整備、わたしの時刻表の作成	利用者意見調査	実績値：82.9% 乗り継ぎに関して「満足、やや満足、普通」と回答した人の割合である。令和3年度より利用促進方策として実施している「わたしの時刻表」においては、令和5年度の作成件数が58件となっており、令和4年度の42件よりも大幅に増加している。同取組等の影響から、満足度においても令和4年度の57%からよりも満足度が大幅に上昇し、目標値を達成した。	「わたしの時刻表」の活用を促し、今後も引続き、効率的な乗り換え案内を実施していく。
「こむぎっち号」高齢者無料パスの発行件数 目標値：255件	広報かみさと、HP、交通安全講習会時に周知	高齢者無料パスの発行簿	実績値：283件 制度改正により令和4年度の発行件数が大幅に増加したことを踏まえ、令和5年度の数値を上方修正した上で、目標値を達成することができている。	引続き、制度周知を実施し、高齢者の公共交通利用支援となるよう努める。
「こむぎっち号」全体満足度	利便性向上により、公共交通利用者数の増加を図る	利用者意見調査	満足度：86.4% 総合的に「満足、やや満足、普通」と回答した人の割合である。昨年度よりも満足度が大幅に上昇している。	令和4年度と比較して回答率・満足度ともに大幅に上昇した。不満で回答をいただいた意見についても次期導入形態検討の際には、現状の課題として解決策等を検討していくとともに、アンケートの回答精度を更に上げていく必要がある。
町の費用負担割合 目標値：16.6%	運賃収入の増加となるよう、利用者数の増加に努める	事業実績	実績値：17.8% 昨年度より国庫補助金が減少し、燃料が高騰しているため、町の費用負担割合は増加した。	引続き燃料が高騰状態であるため、総支出は増加傾向にある。少しでも利用者数を増加させ、運賃収入が増加となるよう努める。
広告掲載数 目標値：143,310円	広報かみさと、HPで周知	広告掲載申請者数	実績値：6,000円 広報とHPで募集を実施した。1件の申請を受け、中央・北部・南部すべてのルート車両内に1カ月間掲示した。	引続き、掲載につながるよう周知を実施していく。
交通安全教室と連携したバスの乗り方教室等、啓発活動の開催回数 目標値：年1回	広報かみさと、HPで周知	事業実績	実績値：年2回 6月(1回)、1月(1回)に開催された交通安全講習会時に、バスの啓発と高齢者無料パス事業の周知を実施した。	こむぎっち号利用へのハードルが下がるよう積極的に利用促進をしていく。

出典：令和6年度 第1回上里町地域公共交通活性化協議会 資料

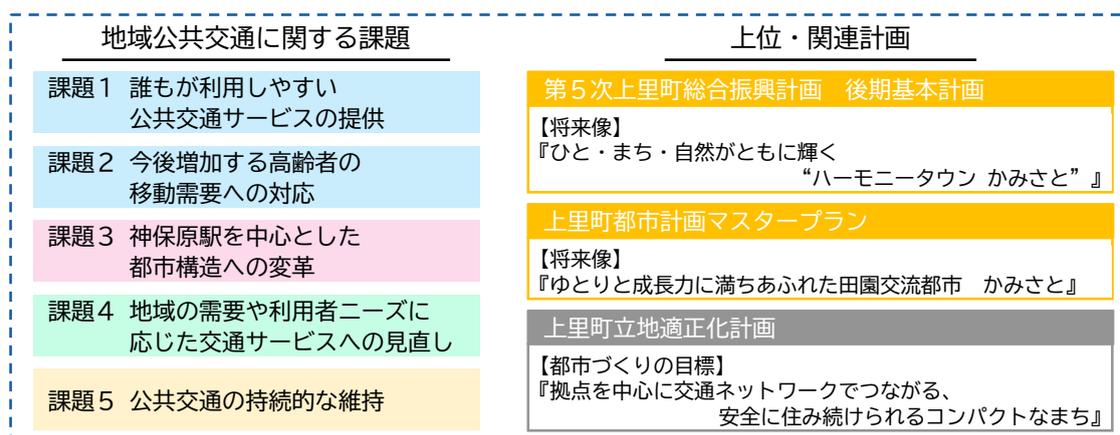
2-2. 計画の基本的な考え方

(1) 計画の基本方針

上里町の公共交通は、JR高崎線と路線バス、コミュニティバス「こむぎっち号」により町内を網羅するかたちで整備されている。一方で、令和5年度に実施した公共交通に関する町民意識調査の結果では公共交通に関する不満があがっており、少子高齢化の深刻化や「こむぎっち号」の利用状況等の観点からも、公共交通の見直しが必要である。

また、公共交通においては、上位・関連計画である「第5次上里町総合振興計画 後期基本計画」や「上里町都市計画マスタープラン」「上里町立地適正化計画」等で示している町の将来像の実現に向けた都市基盤としての機能が求められる。

以上を踏まえ、本計画における基本方針を以下に示す。



基本方針1 利用者ニーズに対応した公共交通サービスの構築

今後の高齢者の増加や、障害のある方、町外からの転入者の増加等、公共交通を必要とする方は増加しており、公共交通を維持していくことの重要性が増している。

一方で、現状の利用状況の分析やアンケート調査の結果より、利用者ニーズとの不一致等が発生していることが示されている。

町内の公共交通網を見直し、利用者ニーズに対応した公共交通サービスを構築する。

基本方針2 町民、交通事業者、行政の協働による 持続可能なしくみづくり

公共交通の重要性が増している一方で、町内の人口は今後も減少していくことが予測されており、さらに運行経費の増加等の課題が生じている。

将来的に公共交通を維持していくために、町と運行事業者が協力し利便性の高いサービスを提供していくとともに、町民に利用していただくことで、町民・交通事業者・行政の協働による持続可能な仕組みづくりを行う。

(2) 計画の目標

基本方針を踏まえ、計画の目標を以下に設定する。

長期目標

目標①：まちづくりにおける政策と連携し、都市機能の基盤を形成する

「立地適正化計画」で示されている”コンパクトで持続可能な都市構造”の実現に向けて、各公共交通が連携することで、神保原駅を中心に各拠点を結ぶ公共交通ネットワークの維持・強化を図る。

目標②：持続可能な公共交通網を実現する

公共交通を維持していくためには、上里町だけの取り組みでは限界があるため、町民や各交通事業者にも積極的な参加、利用を促し、公共交通運行の体制および財政の両面で持続可能な公共交通体系を構築する。

短期目標

目標①：利用実態を踏まえた公共交通網への見直し

将来の都市構造や公共交通の利用実態、町民意識調査の結果を踏まえるとともに、各公共交通を連携させることで、町民にとってより利用しやすい公共交通網への見直しを行う。

目標②：誰もが利用しやすい公共交通サービスへの改善

今後増加する高齢者や、障害のある方等の移動手段を確保するとともに、利用者ヒアリング調査等で把握した利用者ニーズへ対応したサービスへ改善を図る。

また、サービスの改善とともに、利用促進による公共交通利用者の増加を図る。

2-3. 目標を達成するための施策

(1) 施策の概要

目標達成に向けて実施する施策は以下のとおりである。なお、次項に施策の詳細を示す。

表 2-2 目標を達成するための施策一覧

施策	実施主体	事業スケジュール					
		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	長期
施策1 神保原駅の 交通結節点としての機能向上	鉄道事業者、 上里町						
施策2 「こむぎっち号」の再編 による利便性の向上	「こむぎっち号」 運行事業者、 「デマンド交通」 運行事業者・シス テム事業者、 上里町	※適宜見直し					
施策3 鉄道との乗り継ぎ改善	「こむぎっち号」 運行事業者、 鉄道事業者、 上里町	※適宜見直し					
施策4 誰もが利用しやすい 車両の導入	「こむぎっち号」 運行事業者、 「デマンド交通」 運行事業者、 上里町						
施策5 運賃の見直し	「こむぎっち号」 運行事業者、 「デマンド交通」 運行事業者、 上里町	※適宜見直し					
施策6 公共交通に関する さらなる情報提供	「デマンド交通」 システム事業者、 上里町						
施策7 公共交通の利用促進	「こむぎっち号」 運行事業者、 「デマンド交通」 運行事業者・シス テム事業者、 上里町						
施策8 データや利用者の意見に基 づく定期的なサービス改善	「デマンド交通」 システム事業者、 上里町	※適宜見直し					
施策9 周辺自治体との連携	「デマンド交通」 運行事業者・シス テム事業者、 上里町						

(2) 施策の内容

施策1 神保原駅の交通結節点としての機能向上

「神保原駅北口まちづくり基本計画」等と連携した、公共交通の利用しやすい交通結節点の整備																								
<p>①施策の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の神保原駅北口では、「こむぎっち号」のバス停留所が駅舎出入口より約 40m離れた公衆トイレ前に位置しており、バス停留所の位置が分かりづらいことや乗り換えに時間を有する。また、ベンチ等の待合環境も整備されていない状況である。 現在、「神保原駅北口まちづくり基本計画」に基づき、神保原駅北口の駅前広場の設計が進められており、鉄道と「こむぎっち号」及び「デマンド交通」、タクシー等の公共交通を利用しやすい交通結節点の整備に向けた要望をしていくことや連携を図ることとする。 <div data-bbox="619 871 1345 1160" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">図 2-11 現在の神保原駅北口広場</p>																							
<p>②実施主体</p>	<p>鉄道事業者、上里町</p>																							
<p>③実施スケジュール</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #0056b3;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11												
短期 (R7~R11)					長期																			
R7	R8	R9	R10	R11																				

施策2 「こむぎっち号」の再編による利便性の向上

中央ルートの利便性向上

①施策の内容

- 「こむぎっち号」中央ルートの利便性向上に向け、令和7年度（2025年度）からの運行内容の見直しを行った。見直し内容を以下に示す。また、令和7年度（2025年度）以降においても、運行状況に合わせて適宜見直しを行っていく。

●運行ルート

- 公共施設の統廃合に合わせて、運行ルートを見直す。
- 現在のバス停留所、「保健センター」及び「農協前」を廃止し、運行ルートの短縮を図る。

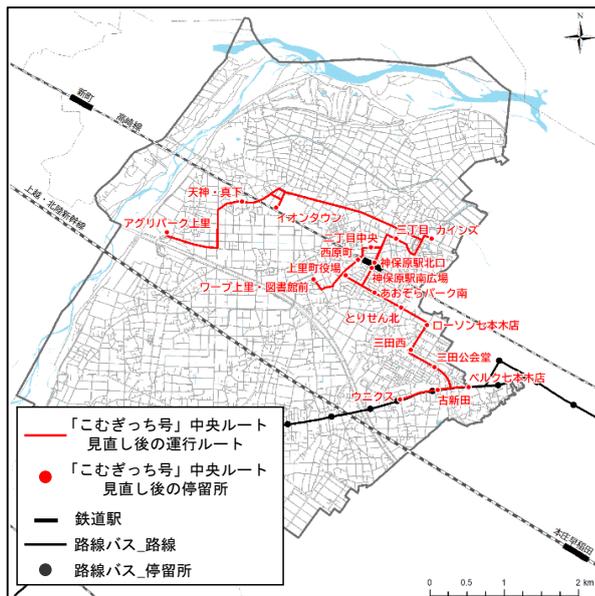


図 2-12 中央ルートの見直し後の運行ルート

●運行時間

- 各便が同じ分数の出発となるラウンドダイヤを導入することで、利用者にとって分かりやすい時刻表とする。

●運行日

- 現在の月曜日から土曜日までの週6運行から、病院が休みであることが多い木曜日の運行を廃止し日曜日の運行とする週6運行へ変更する。

②実施主体

「こむぎっち号」運行事業者、上里町

③実施スケジュール

短期 (R7~R11)					長期
R7	R8	R9	R10	R11	
※適宜見直し					

デマンド交通の導入

①施策の内容

- 「こむぎっち号」北部ルート・南部ルートの利用状況や地域の状況を踏まえると、定時定路線型の運行方法では少ない需要かつ広範囲をカバーすることが困難であることから、新たな交通手段として令和7年度（2025年度）より「デマンド交通」を導入する。
- 運行手法としては、運行ルートは設定せず、町内に設置する「デマンド停留所」を基に、予約のある停留所間のみを運行する「自由経路・ミーティングポイント型」とする。なお、同時時間帯に複数の予約が入った場合は乗合が発生する。
- 運行内容を以下に示す。詳細な運行内容は運行計画書に示す。
- また、令和7年度（2025年度）以降においても、運行状況に合わせて適宜見直しを行っていく。

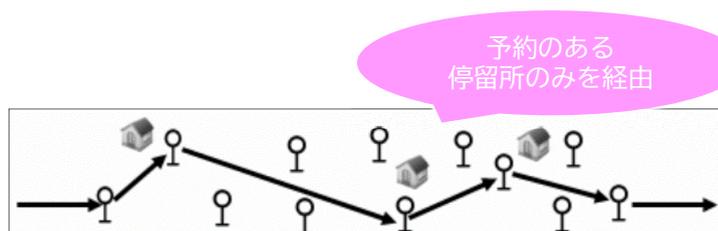


図 2-13 「自由経路・ミーティングポイント型」のイメージ

参考) デマンド交通の導入事例（本庄市）

利用方法

①電話で希望を伝える

伝えること

- 乗りたい日にち・時間
- 乗る場所（停留所名）
- 降りる場所（停留所名）
- 利用する人数



②予約の時間に乗る場所（停留所）に行く

乗車するときに料金を支払います。



③降りる場所(停留所)に到着



●**運行エリア**

- 町民の移動状況や、現在の「こむぎっち号」が北部ルート・南部ルートに分かれていることを考慮し、運行エリアは「北部エリア」「南部エリア」の2エリアとする。なお、エリアは、2つのエリアの人口が概ね均衡するように設定する。

●**デマンド停留所**

- デマンド停留所は町内に約 230 箇所配置し、住宅用地※の約 90.3%以上において、町内の各住宅から直線距離で概ね150mカバーできるように配置を予定する。

※住宅用地は、「都市計画基礎調査(令和3年度)」の土地利用状況における住宅用地とする。

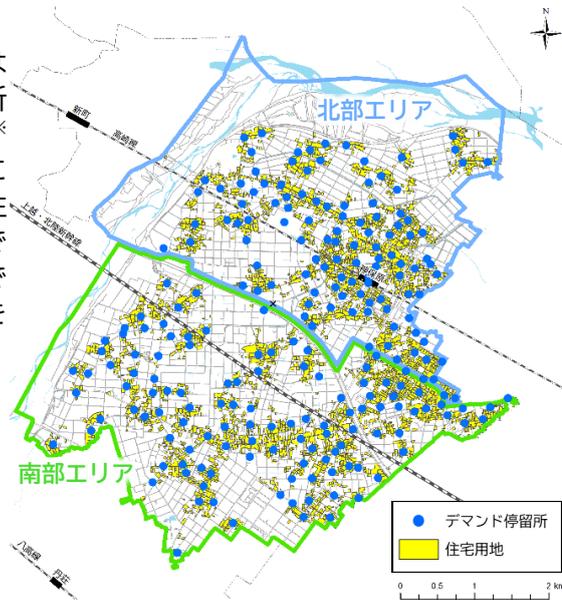


図 2-14 デマンド交通の停留所 (案)

●**利用対象者**

- 現在の「こむぎっち号」において、町外の利用者が一定数いることや、幅広い年代に利用されていることから、利用者に制限は設けないこととする。

●**車両サイズ・台数**

- 本運行手法においては、ルートを設定しておらず、幅員の狭い道路の走行も想定されることから、車両のサイズは乗車定員5名(運転士含む)かつ車椅子のまま乗車可能な車両を各エリア1台ずつ配置する。

●**利用者登録**

- 予約時の利便性向上や無断の予約キャンセル等への対策となることから、「デマンド交通」利用者は事前に利用者登録を必要とする。

●**予約方法**

- 予約方法は、予約センターへの電話又はWEBアプリによるものとする。

②実施主体	「デマンド交通」運行事業者・システム事業者、上里町
-------	---------------------------

③実施スケジュール	短期 (R7~R11)					長期
	R7	R8	R9	R10	R11	
	※適宜見直し					

施策3 鉄道との乗り継ぎ改善

鉄道の時刻表に合わせたダイヤへの見直し						
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道との乗り継ぎを円滑にするため、「こむぎっち号」の神保原駅への到着時間を、JR高崎線の時刻表を考慮し、ダイヤ見直しを行う。 					
②実施主体	「こむぎっち号」運行事業者、鉄道事業者、上里町					
③実施スケジュール	短期 (R7~R11)					長期
	R7	R8	R9	R10	R11	
	※適宜見直し					

施策4 誰もが利用しやすい車両の導入

「こむぎっち号」へのノンステップバスの導入 デマンド交通への車椅子のまま乗車可能な車両の導入						
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 現在の「こむぎっち号」の利用状況においては、約半数が高齢者無料パスや手帳割引による利用者である。また、バリアフリー法が改正されたことを踏まえ、車両の入れ替えのタイミングに合わせて、「こむぎっち号」はノンステップバスを、「デマンド交通」は車椅子のままの利用が可能な車両を選定することとする。 					
						
	図 2-15 ノンステップバス【BYD 小型電気(EV)バス J6】					
②実施主体	「こむぎっち号」及び「デマンド交通」運行事業者、上里町					
③実施スケジュール	短期 (R7~R11)					長期
	R7	R8	R9	R10	R11	

施策5 運賃の見直し

利用状況や町の財政状況に応じた運賃の見直し																												
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用状況や収支状況を踏まえ、「こむぎっち号」の料金を見直し、収支率の改善を図る。なお、料金の見直しにおいては、日常的に利用されている方の費用負担が大きくなるように回数券を発行することや現在の割引制度を継続するなど、配慮するものとする。また、「デマンド交通」の料金に関しては、周辺自治体で導入しているデマンド交通の料金設定を参考にするとともに、「こむぎっち号」と競合しない料金設定とする。 「こむぎっち号」及び「デマンド交通」の料金に関しては、料金改定後も、今後の利用状況や収支率の状況を踏まえ、必要に応じて見直しを実施することとする。 																											
②実施主体	「こむぎっち号」及び「デマンド交通」運行事業者、上里町																											
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">※適宜見直し</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11	※適宜見直し											
短期 (R7~R11)					長期																							
R7	R8	R9	R10	R11																								
※適宜見直し																												

施策6 公共交通に関するさらなる情報提供

バスマップの作成及び配布																												
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 町民意識調査の結果より、「こむぎっち号」の運行ルートやバス停留所の位置が分からないといった意見も上がっていることや、新たな交通手段として「デマンド交通」を導入し、町内全域にデマンド停留所を配置することから、バスマップの作成及び配布を行う。 バスマップの作成にあたっては、「こむぎっち号」及び「デマンド交通」の利用方法等の情報を合わせて掲載し、町民が利用しやすいように配慮する。 																											
②実施主体	上里町																											
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11												
短期 (R7~R11)					長期																							
R7	R8	R9	R10	R11																								

路線バス・コミュニティバスの乗り方教室の継続																														
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在も年に 1 回バスの乗り方教室を行っており、継続的に実施していく。  <p style="text-align: right;">図 2-16 「バス乗り案内」の実施状況</p>																													
②実施主体	上里町																													
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11																		
短期 (R7~R11)					長期																									
R7	R8	R9	R10	R11																										

デマンド交通の乗り方教室・登録会の開催																														
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに導入する「デマンド交通」に関して、利用方法や予約の方法等、従来の定時定路線型のバスとは異なるため、定期的に乗り方教室を開催するとともに、利用者登録を行う。 ・ 乗り方教室の開催にあたっては、予約が必要であることや相乗りが生じることなど、定時定路線型と異なることやデマンド型の公共交通のメリット・デメリットを十分に説明する。  <p style="text-align: center;">図 2-17 デマンド交通の乗り方教室・登録会（事例）</p>																													
②実施主体	「デマンド交通」システム事業者、上里町																													
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11																		
短期 (R7~R11)					長期																									
R7	R8	R9	R10	R11																										

施策7 公共交通の利用促進

「こむぎっち号」の割引制度の継続、回数券の導入 デマンド交通の割引クーポン等の導入検討																								
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在「こむぎっち号」で設定している運賃の割引制度は継続するとともに、料金の見直しに合わせて回数券を導入する。 ・ 「デマンド交通」においては、回数券等の割引制度を導入するとともに、WEBを活用した割引クーポン等の導入を検討する。 																							
	 <p>図 2-18 割引クーポンの事例 (出典：千葉市高津戸乗合タクシー)</p>																							
②実施主体	「こむぎっち号」運行事業者、「デマンド交通」運行事業者・システム事業者、上里町																							
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11												
短期 (R7~R11)					長期																			
R7	R8	R9	R10	R11																				

広域交流拠点や商業施設を結ぶ「こむぎっち号」の日曜日運行																								
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交流拠点である「アグリパーク上里」や大型商業施設では、日曜日にイベント等を開催しているものの、現在は公共交通によるアクセスができない状況にある。 ・ 「こむぎっち号」の運行日を、月曜日から土曜日までの週6日運行から、木曜日を廃止し日曜日運行を行う週6日運行とすることで、「アグリパーク上里」や大型商業施設へのアクセスを可能とし、町内の活性化を図る。 																							
②実施主体	「こむぎっち号」運行事業者、上里町																							
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11												
短期 (R7~R11)					長期																			
R7	R8	R9	R10	R11																				

施策8 データや利用者の意見に基づく定期的なサービス改善

「こむぎっち号」及びデマンド交通の利用実績や利用者の意見に基づき、定期的なサービス内容の見直し

①施策の内容

- 「こむぎっち号」の運行見直し、デマンド交通導入後の運行実績データを基に停留所別の乗降者数や利用者ODなどを分析する。
- 運行実績データの分析結果を踏まえ「こむぎっち号」の運行ルートやダイヤ、デマンド交通の停留所や運行サービスレベルについて適宜見直しを検討する。

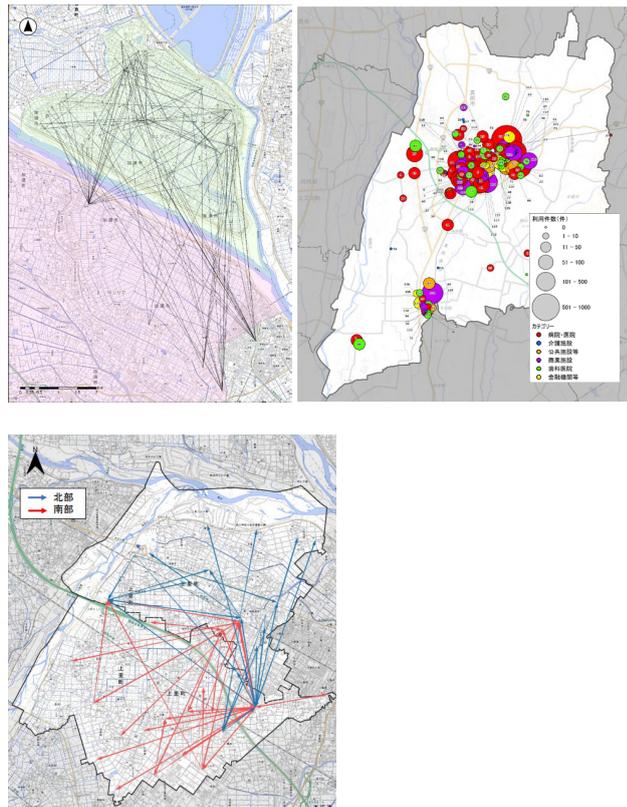


図 2-19 運行サービスレベルの見直しに関する分析のイメージ

②実施主体

「デマンド交通」システム事業者、上里町

③実施スケジュール

短期 (R7~R11)					長期
R7	R8	R9	R10	R11	
※適宜見直し					

施策9 周辺自治体との連携

近隣市町のデマンド交通との乗り換えが可能な停留所の設置																												
①施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町である本庄市ではすでにデマンド交通が導入されており、神川町においてはデマンド交通の導入が検討されている。近隣市町のデマンド交通と乗り換えが可能となるように検討する。 																											
②実施主体	「デマンド交通」運行事業者・システム事業者、上里町																											
③実施スケジュール	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">短期 (R7~R11)</th> <th rowspan="2">長期</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					短期 (R7~R11)					長期	R7	R8	R9	R10	R11												
短期 (R7~R11)					長期																							
R7	R8	R9	R10	R11																								

2-4. 上里町の目指す地域公共交通網

(1) 上里町の目指す地域公共交通網の姿

前項で示す各施策を実施することで、上位・関連計画で示している町の将来像の実現と、利用者ニーズに合わせ、少子高齢化等に対応した地域公共交通網の実現を目指す。

本計画では、現在、町内を網羅的に運行している「こむぎっち号」を対象に、現在の利用状況や将来的な人口分布の推移を考慮し、運行形態の見直しを図るとともに、町外への交通手段であるJR高崎線や路線バス（神泉総合支所線）との連携を強化するため、神保原駅等の交通結節点の整備の促進を図る。

「こむぎっち号」のうち、現在の中央ルートは定時定路線による運行を継続することとし、立地適正化計画における居住誘導区域と駅や役場、大型商業施設等の施設、広域交流拠点を繋ぐ町内の基幹交通として、利便性の向上に向けた運行内容の見直しを図る。一方、北部ルート・南部ルートは、現在の定時定路線では広い範囲を効果的に運行することが難しく、将来的な人口減少を考慮すると運行の継続が厳しい状況にある。そこで、現在住んでいる方々の交通手段を確保するため、広い範囲を柔軟に運行可能な「デマンド交通」を導入し、限られた資源の中での持続可能な公共交通の実現を目指す。

また、バス停までの移動が困難な方に対しては、現在実施しているタクシー助成制度等の福祉施策と連携し、上里町内全体の公共交通の利便性向上を図る。

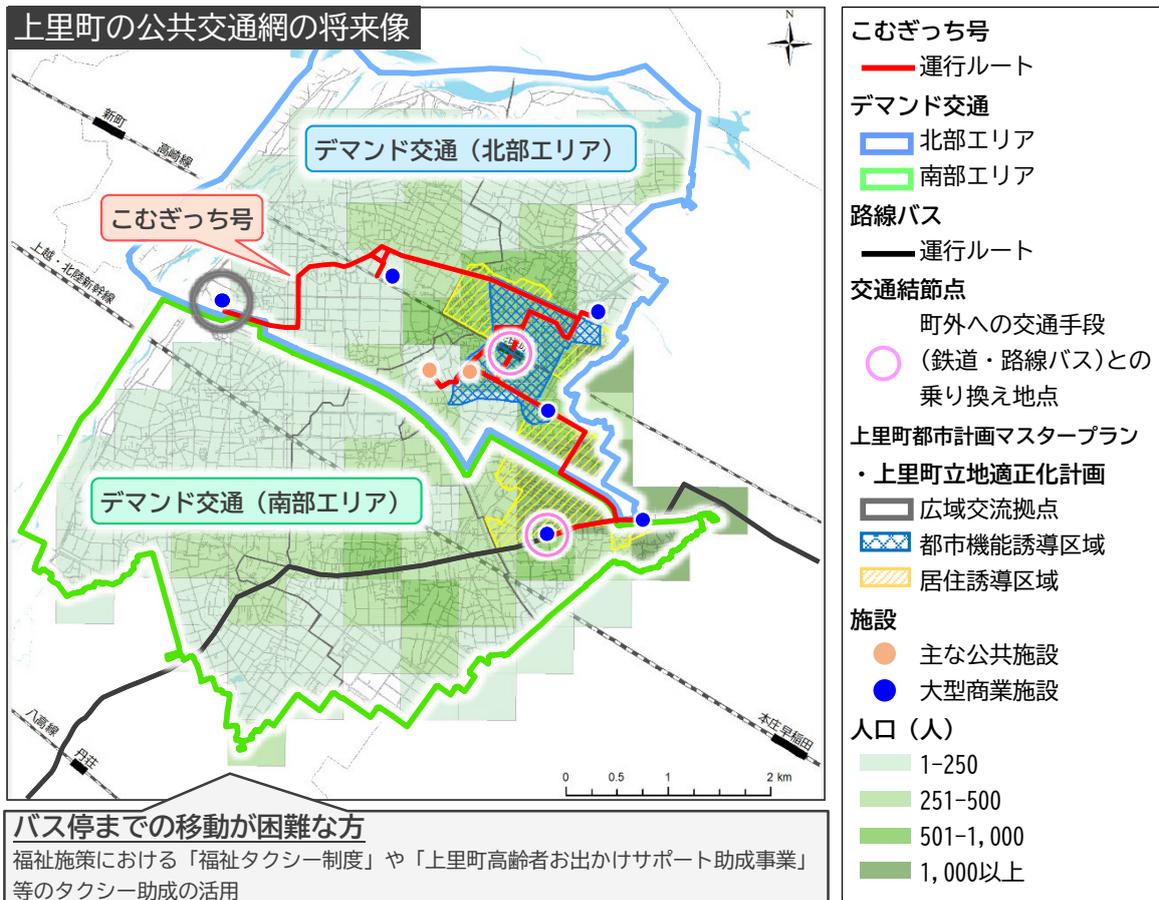


図 2-20 上里町の公共交通網の将来像

(2) 各地域公共交通の位置付けと役割分担

令和7年度（2025年度）より新たに導入する「デマンド交通」は、WEBまたは電話により乗車場所及び降車場所を指定して予約を行うものであり、定時定路線型のバスとは乗車方法が異なる。一方で、乗車場所・降車場所は従来のバスと同様に指定された停留所間のみの利用である点、同時時間帯に複数利用者の乗り合いが生じるものであり、公共交通のなかでも乗合輸送にあたるものである。また、車両台数に限りがあることや運行時間帯が決められており、利用したい時間帯に予約が取れないこともある。

上記を踏まえ、各交通手段の位置付けや地域公共交通の位置付けと役割分担を以下に示す。公共交通のうち、乗合輸送に該当するものは一定の制限のもと、利用者同士で譲り合いながら利用することが求められる一方で、個別輸送であるタクシーは個別のニーズに対応した輸送が可能である。利用にあたっては、利用目的に応じた使い分けが求められる。

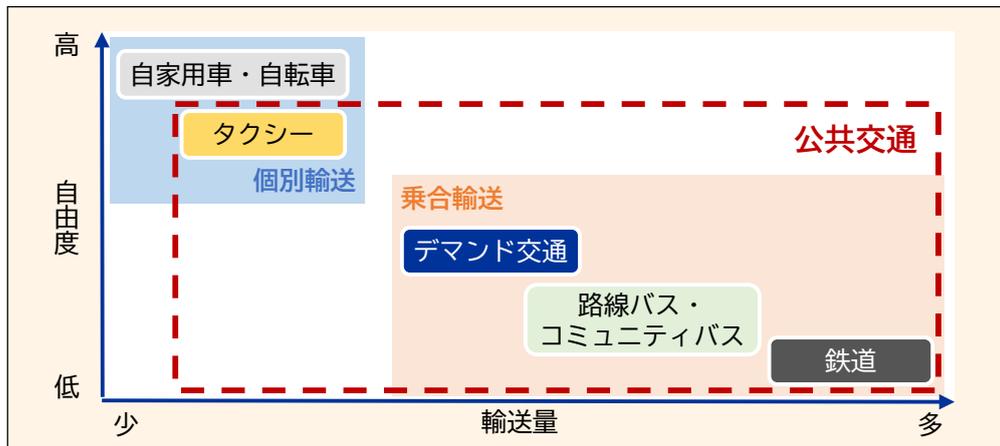


図 2-2 1 各交通手段の位置付け

表 2-3 地域公共交通の位置付けと役割分担

交通手段	位置付け	役割	維持・確保策
鉄道	広域幹線	町外への移動を可能にし、通勤・通学、観光等の広域的な移動を担う。	交通事業者との協議の上、一定以上の水準を確保する。
路線バス	地域間幹線	町内及び近隣市町を結び、通勤・通学、通院、買物等の移動を担う。	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、持続可能な運行を目指す。
コミュニティバス こむぎっちゃん号	地域内 フィーダー	定時定路線の運行により町内の基幹交通として、広域幹線・地域幹線へのアクセス及び通院、買物等の日常生活における移動を担う。	地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を目指す。
デマンド交通	地域内 フィーダー	需要に応じた運行により町内全域を面的にカバーし、広域幹線・地域幹線へのアクセス及び通院、買物等の日常生活における移動を担う。	地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー補助）を活用し、持続可能な運行を目指す。
タクシー	個別輸送	個別の移動ニーズに応じた柔軟で自由度の高い移動や、福祉サービス（タクシー助成）としての移動を担う。	—

表 2-4 再編後の運行概要

系統名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行態様	実施主体	補助事業の活用
路線バス	本庄駅 南口	ユニクス 上里	神泉総合 支所	4条 乗合	路線定 期運行	交通事業者 (朝日自動車)	幹線補助
こむぎっち号	アグリパ ーク上里	イオン タウン	ユニクス	4条 乗合	路線定 期運行	上里町 (運行は 交通事業者)	フィーダ ー補助
デマンド交通 (北部エリア)	上里町 北部エリア			4条 乗合	区域 運行	上里町 (運行は 交通事業者)	フィーダ ー補助
デマンド交通 (南部エリア)	上里町 南部エリア			4条 乗合	区域 運行	上里町 (運行は 交通事業者)	フィーダ ー補助

① 路線バス（神泉総合支所線）

神泉総合支所線は、町内及び近隣市町を結び、通勤・通学、通院、買物等の移動を担っており、地域間を結ぶ幹線交通である。一方で、沿線市町や事業者の運営努力だけでは、路線の維持が難しいため、今後の運行においても、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）の補助により維持・確保する必要がある。また、本庄市、神川町、藤岡市、朝日自動車株式会社と運行に関する協定を締結しており、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）の補助に加えて、上里町からも補助金を拠出することによって運行を維持・確保することとする。

② こむぎっち号

こむぎっち号は、現在の「こむぎっち号」中央ルートの運行を定時定路線により継続して運行するものであり、町内の広域幹線・地域幹線へのアクセス及び通院、買物等の日常生活における移動を担う町内の基幹交通である。一方で、上里町と運行事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー補助）の補助により運行を維持・確保する必要がある。

③ デマンド交通（北部エリア・南部エリア）

デマンド交通は、現在の「こむぎっち号」北部ルート・南部ルートが運行している地域において区域運行として新たに導入する交通手段であり、需要に応じた運行により町内全域を面的にカバーし、広域幹線・地域幹線へのアクセス及び通院、買物等の日常生活における移動を担うものである。ただし、現在のこむぎっち号の利用状況等より、上里町と運行事業者の運営努力だけでは運行の維持が難しいと予測されるため、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー補助）の補助により運行を維持・確保する必要がある。

2-5. 計画の評価

(1) 評価方法

① 評価の方法

本計画は、前計画である「網形成計画」で定める、令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの10年間における「地域公共交通に関する基本方針及び長期目標」の実現に向けた後期計画である。計画の評価においては、長期目標及び短期目標の達成状況を評価するものとする。

本計画の評価においては、長期目標及び短期目標ごとに評価指標を設定し、本計画期間である令和2年度(2020年度)から令和11年度(2029年度)までの5年間のサイクルで実施するものとし、上里町地域公共交通活性化協議会において、PDCAサイクルの実行を管理するものとする。

なお、「施策2 「こむぎっち号」の再編による利便性の向上」に基づき、令和7年度(2025年度)からはコミュニティバス「こむぎっち号」の一部において新たな交通手段として「デマンド交通」の導入を予定しており、実際に運行する中で改善点等が生じることが予測される。また、その他施策の実施により公共交通の利便性向上や利用促進を図り、利用者数の増加を目指す。以上より、「路線バス」の利用状況を把握するとともに、「こむぎっち号」及び「デマンド交通」に関しては、利用状況及び利用者満足度を毎年度把握し、上里町地域公共交通活性化協議会への報告を行い、1年間毎の短スパンでのPDCAサイクルの実行を予定する。

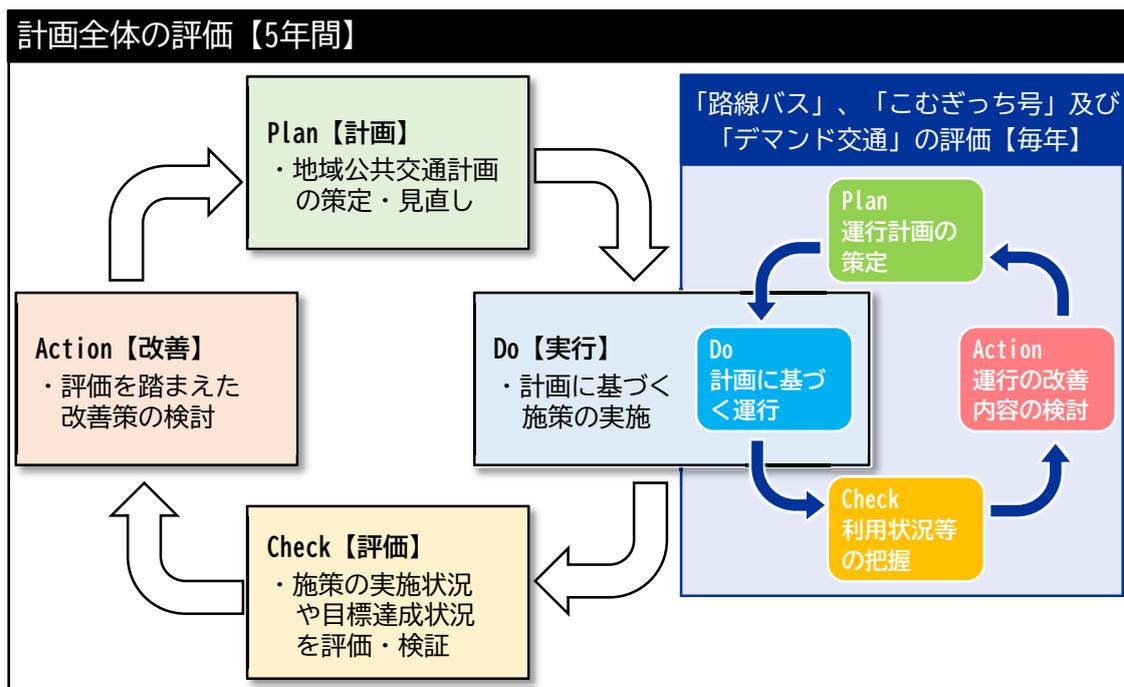


図 2-22 PDCAサイクル

② 評価指標

目標に対する評価指標を以下のとおり設定する。

長期目標①：まちづくりにおける政策と連携し、都市機能の基盤を形成する

評価指標 1

乗り換えに関する満足度

数値指標			算出方法
長期目標設定 時点(R3)	現状値(R5)	目標値(R11)	<ul style="list-style-type: none"> 「こむぎっちゃん号」及び「デマンド交通」の利用者アンケート調査により把握 乗り継ぎに関する満足度の設問において、「満足」「やや満足」と回答する方の割合より算定
30.5% (中央ルートの値)	26.5% (中央ルートの値)	44.6%	

長期目標②：持続可能な公共交通網を実現する

評価指標 2

収支率

数値指標				算出方法
	長期目標設定 時点(R2)	現状値 (R5)	目標値 (R11)	路線バス 経常収益＝ 営業収入+営業外収入(補助金を除く) 経常費用＝営業費用+営業外費用 収支率＝経常収益/経常費用×100 「こむぎっちゃん号」・「デマンド交通」 収支率＝運賃収入等/費用×100
路線バス	56%	49%	現状値以上※	
こむぎっちゃん号	1.8%	1.8%	3.6%	
デマンド交通	-	-	3.6%	

※路線バスの目標値に関しては、評価指標 5 において年間利用者数を増加させることを目指しており、運賃収入に関しても増加を目指すものであるが、人件費や燃料費等の運行経費の増加も想定されることから、現状より低下させないことを目標値とする。

短期目標①：利用実態を踏まえた公共交通網への見直し

評価指標3 「こむぎっち号」及び「デマンド交通」の全体満足度

	数値指標		算出方法
	現状値(R5)	目標値(R11)	
こむぎっち号	54.3% (中央ルートのみ)	64.3%	▶ 「こむぎっち号」及び「デマンド交通」の利用者アンケート調査により把握 ▶ 乗り継ぎに関する満足度の設問において、「満足」「やや満足」と回答する方の割合より算定
デマンド交通	-	50.0%	

評価指標4 人口カバー率

数値指標		算出方法
現状値(R5)	目標値(R11)	▶ 町内の全人口に対する、鉄道駅から1,000m及び「こむぎっち号」「デマンド交通」の停留所から300m圏内の人口の割合により算定
91.5%	現状値以上	

短期目標②：誰もが利用しやすい公共交通サービスへの改善

評価指標5 年間利用者数

	数値指標		算出方法
	現状値(R5)	目標値(R11)	
路線バス	172,257人/年	182,900人/年	▶ 年間の利用実績
こむぎっち号	15,428人/年	16,700人/年	
デマンド交通	-	6,000人/年	

評価指標6 乗り方教室の開催回数

	数値指標		算出方法
	現状値(R5)	目標値(R11)	
路線バス・こむぎっち号	1回/年	1回/年	▶ 年間の開催実績
デマンド交通	-	R7~R8:2回/年 R9~R11:1回/年	

(2) 評価スケジュール

前項の評価指標による評価スケジュールを以下に示す。

表 2-5 評価スケジュール

目標	評価指標	評価スケジュール				
		R7	R8	R9	R10	R11
長期目標① まちづくりにおける政策 と連携し、都市機能の基 盤を形成する	評価指標1 乗り換えに関する満足度	○	○	○	○	◎
長期目標② 持続可能な公共交通網を 実現する	評価指標2 収支率	○	○	○	○	◎
短期目標① 利用実態を踏まえた公共 交通網への見直し	評価指標3 「こむぎっち号」及び「デマン ド交通」の全体満足度	○	○	○	○	◎
	評価指標4 人口カバー率	-	-	-	-	◎
短期目標② 誰もが利用しやすい公共 交通サービスへの改善	評価指標5 年間利用者数	◎	◎	◎	◎	◎
	評価指標6 乗り方教室の開催回数	◎	◎	◎	◎	◎

◎：実施 ○：必要に応じて実施